

まちの史跡めぐり……⑨7

町文化財専門委員 石瀧 豊美

海軍燃料廠採炭部絵葉書の紹介

＝ ありし日の海軍炭鉱の風景 ＝

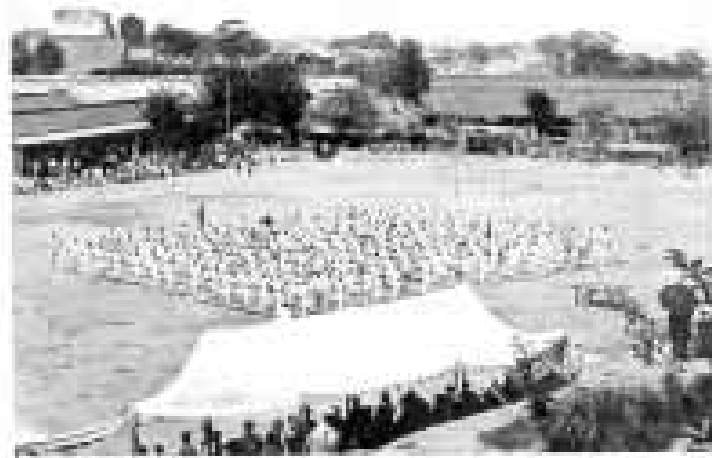
(写真1)



庁舎

病院

(写真2)



青年団(第四坑運動場)

(写真3)



第四坑々口

截炭機使用の状況

「村役人心得」は二回お休みして、石瀧の所蔵する海軍炭鉱の絵葉書(手彩色)を紹介することにしました。

粕屋町・志免町・宇美町それに須恵町の糟屋郡南部四カ町に位置した旧海軍・国鉄炭鉱の歴史は明治二十三年(二八九〇)の(海軍)新原採炭所の開設に始まります。戦後は国鉄に移管

され、昭和三十九年(一九六四)に閉山しました。今年閉山から四一年に当たります。

(写真1) 庁舎・病院
海軍炭鉱の本部庁舎と付属の病院です。新庁舎の落成は昭和四年(一九二九)。玄関前はまだ整地されておらず、竣工直後

の写真と思われま。本部庁舎跡には現在、志免町総合福祉施設「シーメイト」が建っています。

(写真2) 青年団(第四坑運動場)
運動会で体操をしているところです。四坑は新原にあります。

(写真3) 第四坑々口・截炭機使用の状況
トロッコで採掘した石炭を運搬していました。このトロッコは空なので、下るところでしょう。採掘現場では最新の機器を使い、かがんで作業をしています。

久我記念美術館

4・5月の企画展

(月曜休館・入場無料)

福永恒子 布絵展

4月29日(金)～5月15日(日)

倉富敏之 木版画展

5月21日(土)～6月5日(日)

久我記念美術館は、4月下旬から6月上旬にかけて、福永恒子さんの「布絵展」と、倉富敏之さんの「木版画展」を開催します。

福永恒子 布絵展

布のもつ温かさ、素朴さ、それぞれの道をたどってきた古布に魅せられ、懐かしく、又いつまでも残したい日本古来の原風景を一針一針、布を重ねて絵を描くように縫いつけて形を表現しました。



あわただしく過ぎていく毎日、ゆっくり布を見つめ、布を生かして、作る過程を楽しみ、愛情をかけて作った作品は私の記憶の風景であり、癒しの風景です。

そして、その布絵を部屋に飾ることで季節感を味わっています。時をかけ、手間をかけて作り上げた布絵は私の宝物です。



こいのぼり

倉富敏之 木版画展

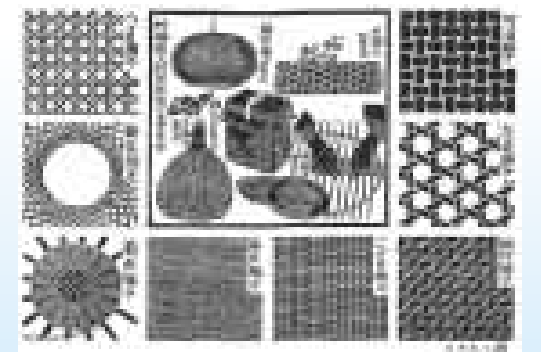
私たちの暮らしの中には、自然素材を巧みに利用した数々の道具類が実に多く見られます。



とくに木工、竹工、藍胎漆器、和紙等は筑後地域の文化の一端を担い、日常生活にうるおいと豊かさをもたらしてきました。

これらは先人・工人のたゆまぬ技術の錬磨と研鑽によって今日まで受け継がれてきた伝統的工芸品であり、私たちの共通の財産として守り育てていかなければなりません。

私は40数年、手仕事に携わる職人の方々と交流をふかめ、版画のテーマにしてみました。“地域の活力に願を込めて…”職人仲間の気持ちを伝えるべく、作品をみなさまに紹介します。



竹製品シリーズ

平成17年度久我記念美術館スケジュール(予定)

期日	個展名	ジャンル
6月11日～26日	北田 明子 展	絵画
7月9日～24日	濱本 重和 展	絵画
8月6日～28日	山本 徹夫 展	インスタレーション
9月10日～25日	世利 好薇 展	絵画
10月	第11回須恵美術クラブ展	絵画・書など
11月	2人展(塚原・大石)	工芸
12月10日～25日	堀澤 大吉 展	絵画
1月14日～29日	広末 勝巳 展	絵画
2月11日～26日	山下 哲郎 展	絵画
3月11日～26日	岩下 豊 展	絵画(水彩)

ギャラリートーク テーマ「木版画を語る」

5月28日(土) 13:30～ 久我記念美術館にて行います。(無料)

4月の企画展

伴 信行書道教室 思い想いの四人展

4月9日(土)から24日(日)まで(月曜休館・入場無料)